

むら いし 村石あつし

富山市議会活動報告



2011年7月・8月

No. 9

発行責任者
富山市議会社民党議員会
村石あつし



6月1日 津波で被害を受けた海岸近くの住宅や歩道: 福島県相馬市尾浜地区



6月20日 本会議で一般質問



6月2日 梨農家(藍原良夫さん)
「隣の伊達市の梅の放射線量が高く、風評被害で梨が売れるか心配」と話していました: 福島市大笹生

皆さまへのごあいさつ

向暑のみぎり、皆さまにはご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、社民党富山県連合自治体議員団会議・福島県視察団の一員として、6月1日～2日に、東日本大震災で被災した福島県を訪問し、「被災の現状、防災の課題、復興の在り方」について視察してきました。

福島市の瀬戸孝則市長は、「事故を起こした福島第1原子力発電所から50kmの距離にある福島市が、風で飛散してきた放射性物質が雪とともに地表に降り積もったため、汚染したと話されました。「福島市には、放射線測定器が一台もなかったことから、急遽購入して測定することで、地域の放射性物質の汚染の有無や放射線量の情報を提供し、市民の不安を払拭するように努めたり、子どもの活動制限などを決定したりしてきた」ということでした。

また、「3月17日の避難者の状況は、福島市内の住民が21.7%、浜通り(福島県の東部地域)の住民が78.3%となり、市の地域防災計画では、想定外のことが起きた」と話されていました。富山市も、石川県の志賀原発から約50kmの距離にあることから、他人ごとではないと思いました。

6月定例会では、皆さまからいただいた要望や意見に基づいて、調査と分析を行い、次の5項目について質問しました。

1. 東日本大震災の被災状況をうけて、木造住宅の耐震改修に対する支援の拡充や富山市地域防災計画の見直しについて、提案しました。(2頁)

2. 市民病院事業については、整形外科医師の増員の見通し、災害発生時の対応などについて、市の考えをたどりました。(3頁)
3. 介護保険制度が平成24年度に改正されることから、介護の質の確保、介護職員の賃金改善、保険料の低減—について、市の考えをたどりました。(4頁)
4. 雇用創出については、緊急雇用創出事業の延長や障害者・高齢者奨励金交付金期間の延長について、提案しました。
5. 市職員のメンタルヘルスケアについては、相談体制や適切な対応をはかるよう求めました。

今後は、2年間の活動経験を生かして、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市を」つくるために、誠心誠意努力する所存です。市民の皆さま、どうぞよろしく願い申し上げます。

老田小学校改築事業—7月下旬より開始決定

改築事業の実設計が平成21年6月定例会で決定されてから、2年後に改築工事が始まることになりました。国から平成23年6月上旬に「改築事業への補助金が付く」との連絡があったことから、1次解体が7月下旬から行われることになりました。9月議会での承認を経て、11月から校舎改築工事が開始されます。私は、地域の皆さまと一緒に、待ちに待った改築工事が始まることを、心から喜びたいと思います。

『絶対に見直してほしい地域防災計画』

地震などの重大な災害が発生した際に、「国民一人ひとりを大事にする国家、住民一人ひとりを大事にする自治体行政」というあり方が、市民の側から、行政に求められる時代となっています。

富山県が、平成23年6月9日に発表した「呉羽山断層帯の地震被害想定調査」の結果では、富山市の死者1,451人、負傷者8,389人となっています。私の政治信条である「いのちとくらしを大切に」の立場から、以下の質問をしました。

村石 富山市の木造住宅の耐震化率(震度6以上の地震でも倒壊しない建物の割合)は、平成17年3月25日時点では69%、平成23年3月20日時点では72%と3ポイント改善されていますが、全国平均79%には届いていません。木造住宅耐震改修支援事業の工事費の限度額60万円については、限度額を増額すべきと考えますが、所見を伺います。

答弁 木造住宅の耐震改修に対する支援につきましては、中核市41市のうち36市において類似した事業があり、東海地方などの地震に対する意識が高い都市では、補助限度額が本市と同程度であっても、改修実施数が多い傾向にあります。…(中略)…現在のところ限度額の増額は、考えていないところであります。

村石 志賀原発で放射線物質が広範囲に飛散する事故が発生した場合に備え、放射線測定器を各中学校校区に配備し、測定結果をホームページに公表することにより、市民に安心を与えることが必要と考えますが、所見を伺います。

答弁 県の生活環境文化部の出先機関である射水市の富山県環境科学センターでは、…(中略)…福島第一原子力発電所の事故を受けて調査項目や測定頻度が強化され、測定結果についてはホームページ上で毎日公表されております。…(中略)…

本市といたしましては、現在のところ、地域防災計画において、本市でのモニタリングポストの設置や、可搬型サーベイメータ(放射線測定器)の配置については想定しておりません。

村石 石川県能登地方など(他方から)の避難者のために、避難場所の指定やスクリーニング検査の体制(放射能汚染の検査体制)について、地域防災計画原子力災害対策の中で定める必要があると考えますが、所見を伺います。

答弁 志賀原子力発電所から本市の市境までの距離は、最短で約50km離れておりますが、福島第一原子力発電所の事故の例を見ますと、万が一、志賀原子力発電所で事故があった場合、本市へ避難されることも想定されます。…(中略)…本市において、他方からの避難者のための避難所の指定や、スクリーニング検査の体制(放射能汚染の検査体制)を原子力災害対策に定めることにつきましては、現在のところ考えておりません。

放射線監視装置(モニタリングポスト)とは？

モニタリングポストは、大気中の放射線の量(空間放射線量)のうち、γ(ガンマ)線を連続して測定する据え置き型の装置です。戸外に置く検出器と室内に置く測定器からなっています。

私の考えと今後の課題

福島市では、5月30日現在、浜通りからの避難者82人の避難所に市職員が駐在し、物資も配送しているということでした。また、福島市環境部は、5月下旬、学校など45施設について、独自に放射線量を測定したということでした。市民団体は、「避難者の受け入れ態勢について、福島市独自の『マニュアル』を作成すべき」「福島市独自の『放射線モニタリング』を実施し、特に『学校』の安全対策を強化すべき」などの要望を市に提出しているということでした。放射線モニタリングポストの設置については、富山県は1カ所ですが、長野県では4カ所に設置しています。富山市は、福島市や福島市民の経験から学び、富山市民へ安心を与える対策を講じる必要があると思います。

【北日本新聞 2011年6月21日】

村石 篤氏
(社民)



村石氏 木造住宅耐震改修支援事業の限度額を上げるべきだ。都市整備部長 増額は考えていないが、市民意識の高まりが重要であり、事業のPRを強化したい。
放射線測定器を各中学校区に配備する必要がある。環境部長 県環境科学センターが測定している。現在、市としてモニタリングポスト設置などは想定していない。



定期検査などで停止中の志賀原発1、2号機(石川県志賀町)の運転再開にめどが立っていない。

災害時に対応できる医療体制を

地域の中核病院として運営している市民病院事業については、「患者さんの予約時間を守るための医師の増員、地域災害拠点病院として災害発生時の医療確保の備え、消費税率の引き上げによる病院運営への影響」について質問しました。

村石 整形外科外来については、予約診療となっていますが、救急患者の搬入で予約時間が守られない日もあると聞いております。整形外科医師の増員の見通しについて、お聞かせください。

答弁 整形外科医師の増員につきましては、関係大学からの派遣医師の増員を要請する等の取り組みを行ってきたところであり、今年春からは、週1回の応援医師を配置したところであり、増員の必要性を認識しているところであり、今後も引き続き、これまで以上に強く医師確保の取り組みを行っていきたいと考えています。

村石 災害発生時に多発する被災地の傷病者の受け入れ体制として、部屋や簡易ベッドが確保されているでしょうか。

答弁 被災地の傷病者の受け入れ体制としての部屋や簡易ベッドの確保につきましては、当院では、玄関ホールや救急センター及び病棟等を、災害時における患者の多数発生時に対応可能なスペースとして使用することとしております。また、ベッドにつきましては、簡易ベッドを含めた現在保有しているベッド等を利用することにより対応できるものと考えております。

村石 医療の運営上必要な医師・看護師・薬剤師などが、厳しい環境下で持ちこたえている中、消費税の引き上げによって日本の医療が、完全崩壊するのではないかと危惧しますが、見解を伺います。

答弁 消費税については、平成元年に3%で導入され、平成9年に現行の5%に引き上げられましたが、その際、診療報酬はそれぞれ0.76%、0.77%引き上げられております。しかし、診療報酬の引き上げがあったとしても、診療材料費や薬品費等の経費面において、医療機関における影響は避けられないものと考えております。

私の考えと今後の課題

日本の医師の数は、OECD(経済協力開発機構)の平均290人(人口10万人対医師数)に対し206人(71%)と

少ないのが実態です。日本は、世界一の高齢化社会ですから、全国で20万人の医師が不足していると言われています。医学部定員を増やし、医師不足を解消しなければなりません。



市民病院の「D-MAT チーム」は、東日本大震災で被災した地域へ派遣されました

D-MATとは？

D-MATは、「災害が起こった直後に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

村石 篤氏

(社民)

市民病院の整形外科 体制を定める必要がある。市のスクリーニング検査

泉病院事業管理者 今 村藤建設部長 万一、

市民病院の整形外科 今春から応援医師



春から週1回の応援医師を配置した。増員の必要性を認識しており、今後もこれまで以上に強く医師確保の取り組みを行う。

志賀原発で事故がある、富山市に避難して行く可能性がある。しかし、原則として被災地を離れる際に検査するのが望ましい。

低負担で質の高い介護保険制度に

「介護の社会化」「高齢者の自立支援」を目的とした介護保険制度がスタートして10年経ちました。平成24年度には改正されますが、介護の質の向上や介護職員などの待遇改善、介護保険料のあり方など、制度の抜本的な整備が求められています。

以上の現状を踏まえて、以下の質問をしました。

村石 ある事業所の施設長は、「ケアプランによるサービスが、地域包括支援センターを併設している事業所に偏っているのではないかと感じる」と話されていました。利用者^①の利益が最優先となるケアプランを提言できるようなケアマネージャーを育成すべきではないですか。

答弁 本市では、介護保険制度がスタートした平成12年度から医療・保健・福祉などの専門家によるチームを設置し、ケアプラン指導研修会事業に取り組んでおります。ケアプランの作成にあたっては、公正中立な立場で、利用者^①の意思や状態を尊重し、常に利用者や家族の立場に立って、介護サービスの種類やサービス事業者の選定が行われるよう、指導してまいりたいと考えております。

村石 介護職員処遇改善交付金(月額平均で1万5千円)については、交付金額を引き上げ、今後も全額国費でまかなうべきではないですか。

答弁 介護職員処遇改善交付金につきましては、介護職

員と他の産業との賃金格差を縮め、介護における雇用を安定させること等を目的に、介護職員の賃金水準を月額平均で1万5千円向上させるために、平成21年10月から平成23年度までに限って交付されるものです。昨年11月、全国市長会として、介護職員処遇改善交付金の支給の対象職員を介護職員以外の職種にも拡大するとともに、恒久的な措置とするよう、政府に要請したところであります。

村石 第1号被保険者(65歳以上の方)の保険料は、合計所得金額に応じて、基準額よりも低くなっています。年金を含めた所得金額が80万円以下の段階では、月額25,900円の保険料となっています。低所得者の年金生活者の介護保険料は、ゼロにすべきではないか。

答弁 ご指摘の課税年金の年額と合計所得金額の合計額が80万円以下の方につきましては、国の示す負担割合よりもさらに1割の軽減措置を設けており、…(中略)…保険料を一律にゼロにすることは考えておりませんので、ご理解ください。

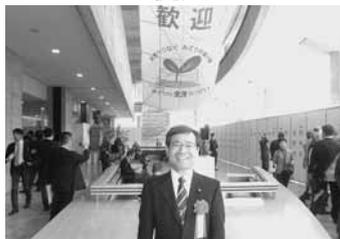
私の考えと今後の課題

介護保険制度の改正では、介護を必要としている高齢者と家族、介護職場を見つめるとともに、国民みんなで支え合い、働く若者が希望を持てる職場にするという原点に立ち戻ることが必要であると考えます。

6月27日	常任委員会(総務・厚生)
6月28日	常任委員会(経済教育・建設)
6月29日	常任委員会(総務・厚生)
6月30日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決ほか)

村石のこの間の主な活動報告

4月5日	老田保育所入所式
4月6日	老田小学校入学式
4月7日	呉羽中学校入学式
4月15日	建設委員会傍聴
4月22日	富山西交通安全協会老田支部定期総会
4月29日	地域密着型介護施設「くれは陽光苑」竣工式
5月14日	全国みどりの愛護のつどい:富山市総合体育館



5月19日	富山県地方自治研究センター臨時総会
5月22日	JR富山駅立体工事安全祈願祭
5月25日	呉羽山観光協会定期総会
5月26日	臨時議会(平成23年度富山市国民健康保険事業特別会計補正予算)
6月1日	東日本大震災の被災状況に関する視察
～2日	(福島県:福島市・伊達市・相馬市・新地町)
6月9日	議員協議会(6月定例会の議案説明)
6月16日	本会議(提案理由説明ほか)
6月17日	議案調査日
6月20日	本会議(一般質問)
6月21日	本会議(一般質問)
6月22日	議案調査日
6月23日	本会議(一般質問)
6月24日	常任委員会(経済教育・建設)
	呉羽中学校教育後援会総会

6月定例会で可決された主な議案

【予算案件】

- ◇平成23年6月富山市一般会計補正予算
予算額 1億4,171万6千円(累計1,623億669万円)
(被災地支援に係る旅費等690万2千円など)
- ◇平成23年6月富山市特別会計補正予算(2会計)
予算額 3,876万3千円
(企業団地候補地測量業務委託料2,200万円など)

【契約案件】

- ◇工事請負契約締結の件
富山市新ガラス工房新築主体工事

皆さまの市政に対するご意見をお聞かせ下さい。

- 富山市議会社会民主党連絡先 〒930-8510
富山市新桜町7-38 電話(076)443-2153
- 自宅 〒930-0161 富山市東老田642
電話・FAX (076)436-5413
- ホームページ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~atushi/>
- メールアドレス kb4tj2@bma.biglobe.ne.jp

